

講座名（専門科目名）	エイズ先端医療学 (大阪医療センター、臨床研究センター、エイズ先端医療研究部)	教授 氏名	渡邊 大 招へい准教授
学生への指導方針	大阪医療センターにおける先進医療と大学院における医学研究を通じて、日本のエイズ診療・臨床研究の中核を担う医療者の育成を目指す。		
学生に対する要望	大阪医療センターは、HIV 感染者の症例数では国内で有数の施設です。このような背景を活かして、新しいことに取り組む意欲のある学生を希望します。		
問合せ先	(Tel) (Email) sirasaka@ohn.go.jp	担当者	
その他出願にあたっての注意事項等			

(以下教室紹介)

研究内容		
国立病院機構大阪医療センターは厚生労働省が定めるエイズ診療の近畿ブロック拠点病院であり、医師・薬剤師・看護師・臨床心理士・メディカルソーシャルワーカーのチームで、先進医療や臨床研究に取り組んでいます。具体的な課題は下記の通りです。		
<ul style="list-style-type: none"> ・ HIV 感染症の病態をウイルス学的・免疫学的な知見から解析を行い、治癒を目指した新たな治療法の開発を進める。 ・ HIV 感染症に対する集学的治療や全人的ケアの方法について研究を行い、同時に HIV 感染症診療・研究のための人材を育成する。 ・ HIV 感染者における合併症として帯状疱疹や悪性リンパ腫、ウイルス性肝炎に注目し、病態の解析や新たな検査法の開発を行う。 		
著者	研究業績	掲載雑誌・巻・号・頁等
Watanabe D <i>et al.</i>	Evaluation of VZV-specific cell-mediated immunity in adults infected with HIV-1 by using a simple IFN- γ release assay.	J Med Virol. in press.
Watanabe D <i>et al.</i>	Increase in Serum Mitochondrial Creatine Kinase Levels Induced by Tenofovir Administration.	J Infect Chemother. 2012;18(2):675-82
Yoshino M <i>et al.</i>	Assessing recovery of renal function after tenofovir disoproxil fumarate discontinuation.	J Infect Chemother. 2012;18(2):169-74.
Watanabe D <i>et al.</i>	Cellular HIV-1 DNA levels in patients receiving antiretroviral therapy strongly correlate with therapy initiation timing but not with therapy duration.	BMC Infect Dis. 2011;11:146
Watanabe D <i>et al.</i>	Immune reconstitution to parvovirus B19 and resolution of anemia in a patient treated with highly active antiretroviral therapy: A case report.	J Infect Chemother. 2011;17(2):283-7.
備考		
http://www.onh.go.jp/khac/renkei/index.html http://www.onh.go.jp/khac/index.html http://www.haart-support.jp/		